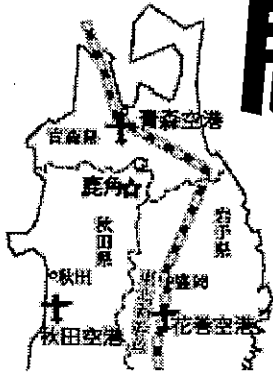
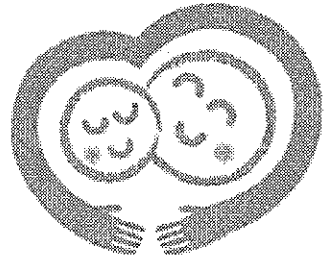


産婦人科のお医者さん 秋田県 かつの 鹿角 に来てください

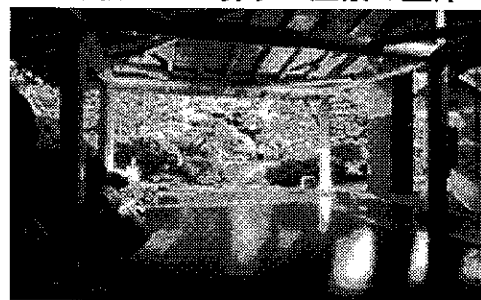


秋田県の北東部にある鹿角地域（鹿角市・小坂町）。中核病院「かつの厚生病院」では、平成30年から産婦人科医師が隣市に集約され、お産ができなくなります。



東北新幹線
盛岡駅まで1時間 温泉の宝庫

住民団体「鹿角の産婦人科を守る会」と「鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会」は、『お産ができる鹿角を望む住民集会』を開催。住民・県・市・町・病院が力を合わせて、鹿角に来ていただける産婦人科の医師を探すことになりました。



鹿角は、東北自動車道が通る秋田県唯一の地。盛岡まで1時間で、首都圏へのアクセス良好。温泉の宝庫です。

手厚い子育て支援を誇る鹿角

地域が医療を支えます

鹿角の温泉はこちら



鹿角の子育てに関連する取り組み

- ☆ はなまるキッズ(地区3ヶ所)
- ☆ すっこんサークル(地区)
- ☆ 煌!!男塾(パパさん)
- ☆ くびれてみヨ〜ガ
- ☆ コシエル(季節もの)
- ☆ チクチク(子ども服など)
- ☆ ママのおしゃべりクッキング
- ☆ ちびっこーまなびっこ
- ☆ ホリデーサークル
- ☆ りらっくBa~(おばあちゃん)
- ☆ グリーンライフ(野菜中心)
- ☆ Syabell(子育てしゃべり場)
- ☆ 赤ちゃんのほっぺ(中高生)
- ☆ うみたの(妊婦のしゃべり場)
- ☆ 子育てくすくす学校
- ☆ 子育てくすくすLIFE
- ☆ コモッセDEくすくす
- ☆ くすくすサロン などなど

鹿角には、子どもや成年男女が、自ら学び、遊び、集う10数団体の「子育て関連サークル」が常に活動しています。行政もこれを支援し、「予約がなくても託児ができる」等の体制を整備。地域の「手厚い子育て支援環境」が周産期医療を支えます。また、住民運動に共感した精神科医師が他県から2人赴任した実績もあり、鹿角は「医療に関心のある地域」に成長しつつあります。

住民とともに、働きがいのある医療活動がしたいと考えている先生、ぜひ鹿角に来てください。いっしょに頑張りましょう。

秋田県、鹿角市、小坂町、鹿角の産婦人科を守る会
かつの厚生病院、鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会

秋田県

秋田県では医師の絶対数が不足しているほか、医師が秋田市周辺に集中する地域偏在や特定の診療科の医師が不足する診療科偏在が課題となっています。医師不足地域の医師確保対策として、地域医療に従事する意欲のある医学生に対する修学資金の貸与やドクターバンクを活用した求職中の医師に対する県内病院等の紹介のほか、地域医療に理解のある医師を県職員として採用して公的医療機関等へ派遣するなどの取組を進めています。

かづの厚生病院

当院は県内9つのJA秋田厚生連病院のひとつ、鹿角地域における中核病院として地域医療を担っております。標榜診療科17、許可病床199床と大規模病院ではないのですが「患者様に誠を尽くして、より満足いただける医療の提供」を病院理念とし、日々奮闘しております。鹿角地域で分娩できる環境を再度整えるためには、当院で勤務していただける産婦人科医師の確保が必須ですので、是非一緒に地域医療に携わっていただけませんか。

鹿角市

鹿角市は、1,000年を超える歴史を有し、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「大日堂舞楽」、「花輪ばやし」をはじめ、地域の伝統・文化が大切に守り続けられている“まち”であり、これは、地域住民の“つながり”の強さの賜物です。市民が大切に守り続けてきた“まち”を、未来につなげていくためには、分娩機能が必要です。市民・行政とつながり、ともに未来のまちづくりをしたい産科医の方、ぜひ鹿角市へ。

小坂町

小坂町は古くからの鉱山の町で、歴史を受け継ぐ明治の建築物は、観光に活用されています。鉱山で培った技術は、金属資源リサイクル産業に展開し、資源循環型産業として発展を続けております。

町では子育て政策に力を入れており、乳幼児・妊産婦の医療費助成、第2子以降保育料無料化、給食費半額助成など多くの施策を展開し、地域の宝である子どもの成長を全力で応援しています。そのためにも、産婦人科医療の確保は重要課題です。

鹿角の産婦人科を守る会

2017年2月、鹿角地域の分娩機能が隣市へ集約されることを知り設立された住民団体です。行政への要請活動のほか、医療を「受けるだけのもの」から「地域で支えるもの」をメインテーマに活動しています。当面は医師と住民が連携して妊婦の方々を支える事を第一に活動します。また、当会はさまざまな企業・団体から協賛を頂いており、鹿角地域での暮らしについても相談を承っております。

鹿角市花輪字上中島155

MAIL: kazuno.mamoru@gmail.com

鹿角の医療と福祉を 考える市民町民の会

2006年、鹿角地域の精神科常勤医師が不在になったことをきっかけに創設された住民団体です。目標は「安心して暮らせる鹿角をつくる」こと。その1つは医師不足への対応で、ついに精神科のお医者さんが赴任。でも、医師全体を増やす必要性を痛感しています。もう1つが、病人や障害者・お年寄りなど「弱者の生きづらさ」の改善。それは「地域づくり」に他なりません。

鹿角市花輪字寺ノ後36-2
NPO法人鹿角親交会気付

MAIL: kadunokosaka@yahoo.co.jp